

令和7年度 弘前大学後援会助成事業のご報告

弘前大学後援会では、弘前大学の学生が充実した学生生活を送り、社会に飛び立っていくことの支援を行っています。令和7年度については、皆さまからいただいたご支援により以下の事業を実施いたしました。引き続き、弘前大学の学生を支援し、学生に寄り添った事業を進めてまいりますので、何卒保護者の皆様のお力添えをいただきますようお願いいたします。

令和7年度実施事業一覧

①教育設備の更新

教育学部、保健学研究科、理工学研究科、農学生命科学部、並びに総合教育棟の講義室における映像関連機器を更新。これにより、学生に対して質の高い教育を提供できる環境を整備することができました。



整備したプロジェクター・デジタルスイッチャー(教育学部)

事業内訳 プロジェクターやスクリーン等の映像関連機器の更新費

本事業の執行額 10,000,000円

②地域課題解決型デジタル人材の育成事業の推進

令和7年度は「地域志向科目」の29科目に対し、フィールドワークのバス借上げ等を支援。これにより、学生に多角的な学びの機会を提供するとともに、地域と連携した授業の充実を図ることができました。



地域志向科目「サービス企業論」の様子

事業内訳 地域志向科目実施経費、VELC Test 受験料など

本事業の執行額 3,159,810円

③学生寮（北鷹寮）の設備更新

経年使用等により劣化・汚損が進んでいた北鷹寮各居室の椅子を更新。約100名の寮生の生活環境の改善を図りました。



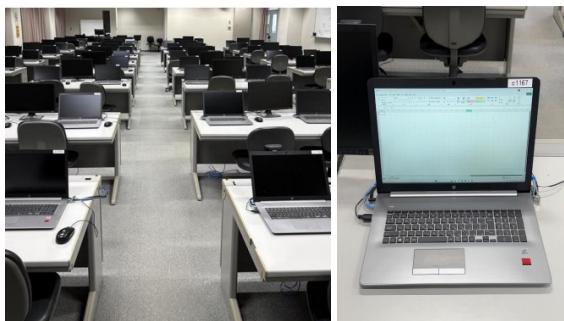
事業内訳 椅子購入費、既存品処分費

本事業の執行額 2,642,376円

④BYOD※における情報環境の整備

学生へのMicrosoftライセンス付与により、Word、Excel等の各種ソフトを各自のパソコンで無償利用できるほか、Teamsを活用したオンライン授業の受講が可能となるなど、場所にとらわれない学習環境の充実を図りました。

※BYOD…BYODとは、Bring your own deviceの頭文字をとったもので、私用のスマートフォンやタブレット、ノートパソコンなどを大学での学習に利用することを表す。



事業内訳 Microsoft 包括ライセンス費

本事業の執行額 5,197,814円